



各界で活躍するゆかりの方々からの

40th アニバーサリー・メッセージ



平野 啓一郎

Keiichiro Hirano

Profile

小説家。1975年愛知県生。北九州出身。京都大学法学部在学中に第120回芥川賞を受賞。以後、数々の作品が各國で翻訳紹介されている。著書は『葬送』、『決壍』、『ドーン』ほか。3月より、毎日新聞朝刊にて小説『マチネの終わりに』連載中。



萩尾 みどり

Midori Hagio

Profile

千葉大学在学中、1974年にTBSテレビ小説「わたしは煙」で主演デビュー。以後ドラマ・舞台・映画等に多数出演。環境問題・リサイクル・健康・食育に関する講演等で精力的に活動。最近はコメンテーターとしても幅広く活躍中。

八幡西区制40周年を、大変、うれしく思います。私の母方の家系は、この土地に古くから住んできた一族です。私自身は、母の嫁ぎ先の愛知県蒲郡市で生まれましたが、その後、2歳から高校を卒業する18歳までを、ここ八幡西区で過ごしました。その間に体験し、感じ、考えたことは、今の私という人間の土台となっています。母や祖母、親類と会うために、盆や正月には、今でも必ず帰省しています。故郷というと、やはりこの町の風景と人が一番に思い浮かびます。

1975年生まれの私は、八幡西区制と大体同じ年くらいです。私も変わり、八幡西区も変わりましたが、懐かしさと新しさをバランスよく調和させながら、今後もますます、この町が発展してゆくことを心から祈っています。

八幡西区で生まれ、10歳まで過ごした私にとって、懐かしい北九州といえば、やはり煙モクモクの活況ある北九州工業地帯でしょうか。空気の汚れや洞海湾にびっしり浮かぶ油膜などなんのその、子供心にも誇らしい街でした。

それと同時に大好きだったのは、レンゲ草です。咲き始めるもう嬉しくって、いつまでもレンゲ畠で遊んだものです。父の仕事の都合で東日本に移った時、春になんでも何処にもレンゲ草が見られず、とても落胆しました。大人になってから春の北九州でれんげ畠に再会した時、思わず涙が溢れたことを思い出します。

八幡西区は工業地帯というより先進技術の街というイメージになり、都市と緑が溶け合って、住むには素晴らしい環境へと変貌しましたね。歴史も古く、昔と同じように、やはり誇らしい街です。これからも子供たちの心に深く残る自然豊かな街でいてほしいと思います。



手嶋 真佐子

Masako Teshima

Profile

声楽家。東京芸術大学卒業、同大学院修了。平成5年度北九州文化奨励賞受賞。ブランドミンゴ世界オペラコンテスト優勝、二期会会員として数々のオペラやコンサートに出演。上野学園大学教授。



松浦 耕大

Kodai Matsuura

Profile

1993年、福岡県八幡西区生まれ。上津役中学校（北九ブルー）→八幡南高等学校→MSH医療専門学校（広島市）→広島球団捕手。右投右打。2014年の育成選手ドラフト会議で広島球団に1位指名。2015年、広島球団に入団。

父が安川電機に勤めていた関係で、紅梅町で生まれ、引野小学校、引野中学校で学び、東筑高校に進みました。小学4年より北九州アカデミー少年少女合唱団の団員となり、三度の食事と同じくらい歌うことが大好きな子供でした。「三度の食事と～」と申しましたのは、子供の頃、本当に食べるものが美味しかったと記憶しているからです。黒崎や相生町の商店街には活気があり、新鮮な魚や野菜、お惣菜なども豊富でした。その頃の八幡西区は程よく便利でありながら地方の良さも残した、とても住みやすい街であったように思います。今は実家も大分に移り、仕事で数年に一度訪れるくらいですが、これだけ離れても、黒崎の駅に降り立てば「自分の街に帰って来たなあ」と感じるのは、本当に不思議なものです。

今、八幡西区に暮らしていらっしゃる皆さんにとって、いつも心地よく優しい街ありますよう、心より願っております。

八幡西区制40周年おめでとうございます。私にとって八幡西区での一番の思い出は、地元の小・中・高校で学生生活を過ごし、仲間と一緒に白球を追いかけて、勝利を目指して野球に取り組んだことです。小さい頃からプロ野球選手になることが夢で、昨年の育成選手ドラフト会議で広島球団に1位で指名され、プロとして一步前に進むことができたときはとても嬉しかったです。子どもたちには、自分の夢を持って、その実現のために努力してほしいと思います。また、今の自分がるのは、導いてくれた恩師、そして両親や友人のおかげです。今後は一日も早く実力をつけて、自信のある強肩を活かした守備力に磨きをかけ一軍で活躍することを目標に頑張っていきます。皆さんの温かい応援をどうぞよろしくお願ひします。

八幡西区のますますの発展と区民の皆さんのご健勝を心からお祈りします。



光石 研

Ken Mitsuishi

Profile

1961年9月26日生まれ。高校在学中に映画「博多っ子純情」(78)の主役でデビュー。役柄は幅広く、出演作が絶えない俳優として知られる。近年の主な出演作に映画「ジョーカー・ゲーム」「深夜食堂」、TV「ウロボロス」などがある。



萩岩 瞳美

Mutsumi Hagiwa

Profile

1962年生まれ。漫画家、イラストレーター、絵本作家。八幡西区在学中に集英社「りぼん新人漫画賞佳作」を受賞し、以来多くの漫画誌に作品を発表し続ける。北九州市人権キャラクター「モモマルくん」のデザインも手がける。

八幡西区制40周年おめでとうございます !!

八幡西区、取り分け黒崎は僕のすべてです。あの街で生まれ、あの街で育ち、泣いて笑って歩いて走って、転げて立ち上がり。僕の五感のすべてが黒崎で養われました。今、ちょっとだけ元気がないといわれていますが、大丈夫 !! 黒崎、八幡西区の火は消えません。僕の同級生や後輩が街に住み、盛り上げようと頑張ってくれています !! まだまだ、まだまだこれからです !! 八幡西区に幸あれ !!

P.S. 北九州市は映画やドラマのロケ地に恵まれていて、フィルムコミッショナも活躍しています。八幡西区にも多くの魅力的なロケ地があるので、僕もいつか故郷を舞台にした作品に出演できたらと願っています !!

私は父が日鉄マンだったため、長い間社宅で育ちました。萩原で生まれ、いったん小倉へ引っ越しましたが小学1年生で鉄竜町に戻ってまいりました。あの頃は至る所に子供がたくさんいて町内会にも活気があり、子供好きな私はもっぱら同級生より小さい子たちとよく遊んでいたものです。アパートの周囲には緑があふれ、セミやコオロギやザリガニを捕まえたり、原っぱで自転車を練習したり、ジャングルジムのてっぺんで「はったい粉」をバフバフ吹いてみたり。

大人たちはよその子でもご飯を食べさせ、悪いことをした時には叱り、人間関係も濃かったですね。裕福ではないけれど、とても豊かな時代を過ごすことができ、当時の思い出は宝物です。それ以降も短大2年間の大分暮らしを除いて今に至るまでずっと八幡西区民です。適当に生活の便もよく、まだまだ自然豊かな居心地のよいこの地にこの先もずっと住み続けることでしょう。



高城 亞樹

Aki Takajo

Profile

1991年10月3日生まれ。AKB48チームBメンバー。派生ユニット、フレンチ・キスとしても活躍。2015年2月、LE VELVETSの日野真一郎とともに北九州市の観光大使に就任した。



梶原 夕希也

Yukiya Kajiwara

Profile

1996年6月24日生まれ。北九州市若松区出身。2012年にギラヴァンツ北九州U-18に加入。2014年には同クラブ初の2種登録でトップチーム登録を果たし、2015年シーズンからのプロ契約を締結した。ポジションはディフェンダー。

八幡西区には本当に多くの思い出があります。今季から僕もギラヴァンツ北九州の一員としてプレーする本城陸上競技場には、ニューウェーブ北九州時代から観戦のためによく足を運んでいました。地元のプロチームということもあって、いつか自分もあるの舞台でプレーしたいという憧れもあったんです。小学校、中学校時代は自分たちの試合会場も八幡西区が多かったし、僕のサッカー人生に大きな影響を与えてくれた場所だと思っています。それから通っていた折尾高校の通学路も思い出の一つです。折尾駅から学校まで続く上り坂がめちゃくちゃきつくて…(笑)。でも、そのおかげで足腰を鍛えられたからプロになれたと思うので、この坂には感謝しているんです。

自分にとって大切なこの地でプロとしての第一歩を踏み出せることが本当に嬉しいです。お世話になった八幡西区を盛り上げるために、ギラヴァンツでしっかり結果を残したいと思います。